

# 指 導 係

## 1 指導関係事業

### (1) 学校訪問

指導主事が随時訪問し、校長をはじめ教職員と協議懇談することにより、学校の抱える問題を解明し、指導・助言をした。また、要請により研究会等に出席し、指導・助言を行った。

### (2) 研修会

令和6年度は、次の研修会を開催し、教職員の資質の向上を図った。

ア 校長研修会	1回
イ 副校長研修会	1回
ウ 主幹教諭任用時研修会	1回
エ 主任教諭任用時研修会	1回
オ 福生市教員悉皆研修会	1回
カ 教育研究会研修会（24部会）	11回
キ 中堅教諭等資質向上研修会	8回
ク 初任者研修会	11回
ケ 2年次教諭研修会	3回
コ 3年次教諭研修会	2回
サ 服務事故防止研修会	1回
シ 英語教育研修会（小・中）	3回
ス 特別支援教育コーディネーター連絡会	2回
セ 日本語学級担当教員研修会	2回
ソ 特別支援教室担当教員連絡会	2回
タ 特別支援学級担当研修会	2回
チ 学校マネジメント講座	1回
ツ スクールカウンセラー研修会	3回

### (3) オーケストラ鑑賞教室

市立小・中学校児童・生徒を対象としたオーケストラ鑑賞教室を、市民会館において開催した。

### (4) 教育研究奨励、教育課題等研究委託

教育研究を奨励するとともに教育研究を委託し、教職員の使命の自覚を促すとともに、資質の向上を図った。

#### ア 教育研究奨励校 2校

学 校	研 究 主 題
福生六小 (2年次)	「自ら学びに向かい、確かな学力を身に付けようとする児童の育成」 ～授業と家庭学習の往還を通して～
福生三中 (1年次)	「学び合い、教え合い、高め合う集団の育成」 ～対話的な学びの充実を目指して～

#### イ 教育課題等研究校 8校

学 校	研 究 主 題
福生一小	「自分の考えをもち、すすんで話合い、考えを深める児童の育成」 ～根拠を基に考えをもち、理解を深める指導の工夫～
福生二小	「深く学び よく考える子の育成」 ～個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくりを通して～

福生三小	「自らの力で問題を解決できる児童の育成」 ～基礎的・汎用的読解力の向上を目指して～
福生四小	「自ら課題を発見し、解決できる児童の育成」 ～「学び方」を学び、見通しをもって学習に取り組む～
福生五小	「自らすすんで学習に粘り強く取り組む児童の育成」 ～ICTの活用とユニバーサルデザインの視点をもった授業改善を通して～
福生七小	「多様性を認め合い、高め合う児童の育成」 ～道徳的心情を豊かに育む授業づくりを通して～
福生一中	「生徒が能動的に学習する課題解決型学習の実践」 ～話し合い活動や協働学習を通して～
福生二中	「全ての生徒が活躍できる、学年・学級経営」 ～「魅力ある学校づくり」の推進を通して～

#### ウ 教育課題等研究（団体）

団 体	研 究 主 題
校 長 会	幼保小の円滑な接続と小中一貫教育の充実を目指して ～中学校区の教育力の向上を図る取組を通して～
副校長会	コミュニティ・スクールの充実に向けた、地域人材の活用における副校長の役割

#### (5) 特別支援教育の推進

特別支援学級の児童・生徒の安全管理及び学習指導等の充実を図るために指導補助員を配置するほか、教員向けの特別支援教育研修会等を開催し、教員の特別支援教育に関する理解を深め、指導力の向上を図った。

#### (6) 各種指導補助員等配置事業

小・中学校に各種指導補助員等を配置して、児童・生徒の指導補助等を行った。

事 業 名	人 数 (人)	配置時間 (時間)
夏季休業中水泳指導補助員	25	283
小学校水泳指導補助員	30	398
日本語適応支援員 (技能指導講師)	10	625
学習指導市民講師	49	49
特別支援学級等指導補助員	29	7,998
スクールアシスタントティーチャー	85	18,284

#### (7) 英語教育指導助手事業

福生市英語教育推進計画に基づき、中学校全校に外国人英語教育指導助手（ALT）を配置し、中学校英語科の授業における補助を行った。また、各小学校にも随時ALTが巡回し、小学校第5・6学年の英語科の授業及び小学校の第1学年から第4学年の外国語活動等における補助を行った。

指導日数：1,027日

#### (8) 理数教育推進事業

小学校第5・6学年、中学校全学年に理科支援員を配置し、理科授業の実験、授業等の補助を行った。

人 員：9名

活動時間：723時間

(9) 学校と家庭の連携推進事業

いじめ、不登校、暴力行為など生活指導上の課題に対応するため、小・中学校全校に「家庭と子どもの支援員」及び「スーパーバイザー」を配置した。

ア 家庭と子どもの支援員

人 員：28名

活動時間：2,662時間

イ スーパーバイザー

人 員：6名

活動時間：17時間

(10) 部活動外部指導者配置支援事業

中学校の部活動に外部指導者を配置することで、専門的な技術指導等による部活動の質の向上と教員の負担軽減を行った。

人 員：32名

配置回数：1,154回

(11) 校内別室指導支援員配置事業

不登校及び不登校傾向の児童・生徒が安心して、自己存在感や充実感を感じられる教室以外の居場所に支援員を配置し、児童・生徒一人一人の状況に応じた支援を行った。

配置校

：福生第六小学校、福生第一中学校、福生第二中学校、福生第三中学校（令和5年度から2年間）

福生第三小学校、福生第四小学校、福生第七小学校（令和6年度から2年間）

人 員：67名

活動時間：14,954時間

(12) 英語教育推進事業

「読む」・「聞く」・「書く」・「話す」の4技能を測定できる英語四技能検定を中学校第3学年全生徒が公費で受験し、各学校の教員へ英語教育指導顧問の訪問指導を行うことで、生徒の英語力向上と教員の指導力向上を図った。

また、「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」を活用し、小学校第5学年児童及び中学校第2学年生徒全員を対象に実施している英語教育の体験型プログラムに参加した。

体験型プログラム参加人数：小学校第5学年 361人

中学校第2学年 337人

(13) 福生市学力・学習状況調査（学力診断テスト委託）

一人一人の児童・生徒の学力を継続的に測るため、小学校第2学年から中学校第3学年までの児童・生徒を対象とした学力・学習状況調査を実施した。

(14) 市立学校ICT環境整備

指導者用端末及びネットワーク機器の更新・増設を実施し、教育系ネットワークの利便性の向上を図った。また、GIGAスクール端末において活用しているMicrosoft 365（統合型学習支援サービス）をA3ライセンスに更新したことで、不正アクセス防止等のセキュリティ面の強化を実施した。

(15) 幼保小中連携事業

就学前教育と小学校教育との円滑な接続や連携を推進するために、幼保小連携推進委員会を開催しスタートカリキュラムや交流活動の実施を行った。

また、令和6年3月に福生市教育委員会と福生市内幼稚園・認可保育園・認定こども園との連携に関する包括連携協定を結び、持続的な幼保小中の連携を推進している。

(16) 笑顔と学びの体験活動プロジェクト

文化、運動、科学、協働学習など、児童・生徒が自らの感覚や行為により実感、体感する多様な体験機会を通じて、児童・生徒の積極性や協調性、コミュニケーション力、他者理解、興味・関心、感性など、豊かな心の育みにつながるよう、学校における体験活動の充実を図った。

(17) インクルーシブ教育システム体制整備推進事業

令和6年度より、福生第一小学校及び福生第二小学校が東京都より「インクルーシブ教育システム体制整備推進校」として指定を受け、知的障害特別支援学級に在籍する児童への指導、支援の充実を図ることを目的として、専門教具の購入及び教員研修を実施した。

(18) 小学校教科担任制等推進校事業

福生第二小学校が東京都より「小学校教科担任制等推進校」として指定を受け、小学校高学年における専門性の高い教科指導を実現し、中学校教育への円滑な接続を図るとともに、多面的・多角的な児童に対する理解の促進を図るため、教科担任制を実施した。

(19) 令和における福生市立学校の在り方検討委員会

福生市教育委員会が、教育課題の解決や、学校教育に対する市民の思いや願いの実現という観点から、今後の福生市立学校の在り方等の検討を行うため、令和6年度「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」を開催した。なお、本検討委員会は令和6年度をもって休止とした。

ア 開催回数 4回

イ 令和6年度メインテーマ

- ・ICTの活用（日常的な活用の推進）
- ・八王子市立いずみの森義務教育学校への視察
- ・部活動の地域連携・地域移行
- ・福生市の教育の目指す姿について
- ・検討委員会報告書の検討

ウ 委員構成

委員長	学識経験者 1人
委員	市立小中学校の校長 10人 市立小中学校のPTA関係者 1人 福生市町会長協議会の代表者 1人 福生市立学校運営協議会委員 3人 市内の幼稚園長 1人 市内の保育園長 1人 福生市民生委員・児童委員協議会の代表者 1人 市職員 1人 その他教育長が必要と認める者

(20) 部活動の地域連携・地域移行検討委員会

福生市教育委員会が、福生市立中学校に在籍する生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するとともに、教員の働き方改革を進めるために、学校と地域との連携・協働による学校部活動の在り方等の検討を行うため、部活動の地域連携・地域移行検討委員会を設置した。

ア 開催回数 3回

イ 令和6年度メインテーマ

- ・国や東京都の部活動改革の動向
- ・福生市の部活動の現状
- ・アンケート調査及び集計結果の報告
- ・部活動の地域連携・地域移行に向けた主な方策と課題
- ・「部活動の地域連携・地域移行検討委員会」提言について

ウ 委員構成

委員長	学識経験者 1人
委員	市立中学校の校長 3人 市立中学校のPTA関係者 3人 特定非営利活動法人福生市スポーツ協会の代表者 1人 福生市文化協会の代表者 1人 市職員 1人 その他教育長が必要と認める者

(21) 水泳指導外部委託化モデル事業

天候や施設に左右されず、質の高い水泳指導を行うため、令和6年度から令和8年度にかけて、市内小・中学校の水泳指導の外部委託化モデル事業を実施した。令和6年度では、福生第六小学校、福生第三中学校をモデル校とし、市内民間屋内プール施設で実施した。